



きらめく



熊本支援学校長だより R3. 7月号

保護者の皆さま、地域の皆さまにおかれましては、今学期も本校教育へのご協力とご支援をいただき感謝申し上げます。

7月になり、講師1人、サポーター2人が新たに任用となりました。講師は中学部に、サポーターは小学部に配置しています。

登下校時の駐車場誘導に関しまして、保護者の皆さまのご協力をいただきありがとうございます。

リスクレベルは下がり、ワクチンの接種も少しずつ始まっていますが、まだまだ、新型コロナウイルス感染予防を行いながらの教育活動が続くと思います。安心・安全を第一に考え、今できることを工夫して行っていききたいと思います。

保護者の皆さまに教育委員会からお知らせがあったように、本校高等部は、令和6年度から募集停止となります。令和6年度は2・3年生、令和7年度は3年生のみとなり、令和8年度に高等部がなくなります。高等部に在籍する生徒たち、保護者さまが、「最後の高等部に在籍して、充実した生活を送れた。」と思える学部づくりを行いたいと思います。今後は小学部・中学部の学校となります。本校は、令和5年度に50周年を迎えます。新しい熊本支援学校づくりを、保護者の皆さま、地域の皆さまと連携を取りながら進めていきます。

初任者研究授業・授業研究会

新年度に教諭として新たに採用された先生方は、「初任者研修」という研修を受けます。この研修は、1年間をとおして計画的に行われ、校内や校外で、教科に関することや、学級運営に関することなど、さまざまな内容の研修があります。研究授業も、その中の一つです。初任者4人が、それぞれに学習指導案を作成し、授業を行い、指導方法や支援内容などについて、学部や学年の先生方と話し合う授業研究会を行いました。まず、初任者が、授業をどのような視点で組み立て、言葉かけや教材の見せ方など、子どもの実態に応じて、どう工夫したのかを説明し、他の先生方が授業についての意見を出しました。初任者だけでなく、参加した先生方にとっても参考となる会となりました。

信友社助成金

今年度も、公益財団法人「信友社」様から助成金をいただき、感謝申し上げます。この助成金は、県内の特別支援学校に在籍する児童生徒等が充実した学校生活を送れるよう、活動費用の支援として実施されるものです。楽器(箏、シードラム)、サーキットトレーニング用メッシュトンネル、スイッチなどを購入する予定にしています。子どもたちにも紹介し、大切に使用していきたいと思っています。

熊本県教育広報誌「ばとん・ぱす」(vol.59)が発行されています。
「特別支援学校2校(かもと稲田支援学校、鏡わかあゆ高等支援学校)の開校」について紹介されています。ぜひご覧ください。
<https://www.pref.kumamoto.jp/site/kyouiku/101844.html>

